平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場会社名　ユニデン株式会社　　上場取引所　東
コード番号　6815　URL　http://www.uniden.co.jp
代表者　（役職名）代表取締役会長兼社長　（氏名）藤本　秀朗
問合せ先責任者（役職名）管理本部長　（氏名）志記　壮一郎　TEL 03-5543-2812

四半期報告書提出予定日　平成25年11月12日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

（百万円未満四捨五入）

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	11,628	△18.7	615	―	698	244.4	760	―
25年3月期第2四半期	14,300	△21.3	△125	―	203	△79.1	△153	―

（注）包括利益　26年3月期第2四半期　608百万円　（―%）　25年3月期第2四半期　△572百万円　（―%）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	12.91	―
25年3月期第2四半期	△2.59	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	36,421	31,058	85.3
25年3月期	36,376	30,451	83.7

（参考）自己資本　26年3月期第2四半期　31,058百万円　25年3月期　30,451百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00
26年3月期	―	0.00			
26年3月期（予想）			―	―	―

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無
期末の配当金につきましては、現時点では未定であります。

3. 平成26年 3月期の連結業績予想（平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,800	△21.0	1,550	―	1,590	―	1,540	―	26.16

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	63,139,649 株	25年3月期	63,139,649 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	4,262,420 株	25年3月期	4,259,464 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	58,878,864 株	25年3月期2Q	58,886,050 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書 …… 7
四半期連結包括利益計算書 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
継続企業の前提に関する注記 …… 10
株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10
重要な後発事象 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間の世界経済においては、全体として緩やかな拡大が続きました。米国では、財政問題等極めて強い懸念事項を抱えながらも、消費者マインドや海外景気の持ち直しを受け、軟調ながら回復傾向が持続しました。また、欧州ユーロ圏では債務危機再燃への懸念が弱まるなか、徐々に景況感が改善しており、新興国では一部成長の減速が見られる等の懸念はあるものの高いレベルでの成長が続くと期待されております。

一方我が国では、東日本大震災の復興需要、東京オリンピック招致成功による一定の高揚感を背景にしつつ、全体としては一連の政策効果もあり、緩やかながら景気回復基調が続いております。一方で、個人消費においては消費者マインドの冷え込みは引き続いており、消費税増税を前に依然予断を許さない状況にあります。

このような環境の中、当社グループでは引き続き既存事業における収益体質の確立を最優先課題とし、採算性を重視した製品ラインナップの構築に注力してまいりました。また、準備段階にあったスマートフォン向けゲームアプリケーション事業、不動産事業は、順調にビジネスの基盤を整えることができました。

この結果、当第２四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高11,628百万円（前年同四半期比18.7％減）、営業利益615百万円（前年同四半期は125百万円の損失）、経常利益698百万円（前年同四半期比244.4％増）、四半期純利益760百万円（前年同四半期は153百万円の損失）となりました。

〔電話関連機器部門〕

当部門では、採算性を重視する事業戦略を推進いたしました。その結果、北米市場においてコードレス電話の売上台数が減少し、売上台数211万台(前年同四半期比55.1％減)、売上高5,309百万円(同41.8％減)となりました。

〔無線通信・応用機器部門〕

当部門では、北米市場において、Scanner Radio（スキャナーラジオ）や、Video Surveillance(ワイヤレスカメラ)の売上が好調に推移したことから、売上台数76万台(前年同四半期比4.9％増)、売上高5,616百万円(同39.1％増)となりました。

〔デジタル家電機器部門〕

当部門では、液晶テレビ等の売上台数が減少し、地上デジタルチューナーの販売単価が低下したことから、売上台数6万台(前年同四半期比25.6％減)、売上高329百万円(同56.6％減)となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第２四半期連結会計期間末の流動資産は19,579百万円(前期末比549百万円減)となりました。これは、主として現金及び預金が896百万円、その他が108百万円増加し、商品及び製品が681百万円、受取手形及び売掛金が576百万円、繰延税金資産が233百万円、原材料及び貯蔵品が103百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

固定資産は16,842百万円(同594百万円増)となりました。これは、投資その他の資産が283百万円、無形固定資産が200百万円、有形固定資産が111百万円増加したことによるものです。

この結果、資産合計は36,421百万円(同45百万円増)となりました。

（負債）

当第２四半期連結会計期間末の流動負債は5,261百万円(前期末比587百万円減)となりました。これは、主として支払手形及び買掛金が421百万円、未払費用が216百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

固定負債は102百万円(同25百万円増)となりました。これは、主として長期借入金が30百万円増加したこと等によるものです。

この結果、負債合計は5,363百万円(同562百万円減)となりました。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末の純資産合計は31,058百万円(前期末比607百万円増)となりました。これは、主として利益剰余金が761百万円増加し、為替換算調整勘定が157百万円減少したこと等によるものです。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績の動向を踏まえ、平成25年５月15日に公表しました平成26年３月期（平成25年４月１日～平成26年３月31日）の通期業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日公表しました「平成26年３月期第２四半期連結累計期間の業績予想値と決算値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,417	10,313
受取手形及び売掛金	5,115	4,539
商品及び製品	3,464	2,783
仕掛品	449	492
原材料及び貯蔵品	1,096	993
繰延税金資産	233	－
その他	433	541
貸倒引当金	△79	△82
流動資産合計	20,128	19,579
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,312	3,494
機械装置及び運搬具（純額）	1,793	1,722
工具、器具及び備品（純額）	246	327
土地	8,845	8,873
建設仮勘定	112	3
有形固定資産合計	14,308	14,419
無形固定資産	522	722
投資その他の資産		
投資有価証券	625	650
その他	908	1,166
貸倒引当金	△115	△115
投資その他の資産合計	1,418	1,701
固定資産合計	16,248	16,842
資産合計	36,376	36,421

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,122	1,701
短期借入金	462	480
1年内返済予定の長期借入金	―	9
未払費用	2,039	1,823
未払法人税等	486	484
賞与引当金	189	222
役員賞与引当金	9	13
製品保証引当金	60	57
その他	481	472
流動負債合計	5,848	5,261
固定負債		
長期借入金	―	30
その他	77	72
固定負債合計	77	102
負債合計	5,925	5,363
純資産の部		
株主資本		
資本金	35,999	35,999
資本剰余金	11,791	11,791
利益剰余金	514	1,275
自己株式	△7,321	△7,322
株主資本合計	40,983	41,743
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	4
為替換算調整勘定	△10,532	△10,689
その他の包括利益累計額合計	△10,532	△10,685
純資産合計	30,451	31,058
負債純資産合計	36,376	36,421

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年９月30日）
売上高	14,300	11,628
売上原価	10,773	7,957
売上総利益	3,527	3,671
販売費及び一般管理費	3,652	3,056
営業利益又は営業損失（△）	△125	615
営業外収益		
受取利息	4	6
受取配当金	1	1
為替差益	―	21
持分法による投資利益	141	30
受取手数料	155	―
受取保険金	―	23
その他	50	35
営業外収益合計	351	116
営業外費用		
支払利息	0	3
為替差損	10	―
会員権評価損	5	―
附帯税	―	20
その他	8	10
営業外費用合計	23	33
経常利益	203	698
特別利益		
固定資産売却益	19	90
事務所移転費用戻入益	―	18
特別利益合計	19	108
特別損失		
固定資産除売却損	4	3
特別退職金	87	―
特別損失合計	91	3
税金等調整前四半期純利益	131	803
法人税、住民税及び事業税	39	33
法人税等調整額	245	10
法人税等合計	284	43
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△153	760
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△153	760

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△153	760
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	4
為替換算調整勘定	△410	△143
持分法適用会社に対する持分相当額	△10	△13
その他の包括利益合計	△419	△152
四半期包括利益	△572	608
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△572	608
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	131	803
減価償却費	573	370
貸倒引当金の増減額（△は減少）	1	2
受取利息及び受取配当金	△5	△7
支払利息	0	3
為替差損益（△は益）	360	△307
固定資産除売却損益（△は益）	△15	△87
持分法による投資損益（△は益）	△141	△30
売上債権の増減額（△は増加）	△410	609
たな卸資産の増減額（△は増加）	240	844
仕入債務の増減額（△は減少）	△469	△529
その他	△126	△391
小計	139	1,280
利息及び配当金の受取額	6	7
利息の支払額	―	△3
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△9	△58
営業活動によるキャッシュ・フロー	136	1,226
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△426	△280
有形固定資産の売却による収入	32	92
無形固定資産の取得による支出	△52	△218
その他	△2	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△448	△402
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	137	―
長期借入金の返済による支出	―	△5
自己株式の取得による支出	△1	△1
配当金の支払額	△292	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△156	△6
現金及び現金同等物に係る換算差額	△35	73
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△503	891
現金及び現金同等物の期首残高	7,508	9,417
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	―	5
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,005	10,313

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。